
おれの中にいるおれと会話してみた

で買おう

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

おれの中にいるおれと会話してみた

【Nコード】

N1152F

【作者名】

で買おう

【あらすじ】

なんか暇だったのになんかしようかと思いなにか自分と話してみることになったらなんかなんかなんか……

(前書き)

つまらないです

「…なあ」

「ん？」

「暇じゃね？」

「…暇だな」

「なんか喋ろうなんだぜ？」

「…いいけど、なんか話題あんの？」

「…ねーわ」

「え？ねーの？」

「ねーな、うん」

「なに？こんなグダグダな感じでいくの？いーの？こんなんで」

「いんじゃね？」

「いや、よくねーだろダメだろこれ」

「…よし、じゃああれだ、ほら」

「何？」

「ちこ」

「意味わかんねーよ！ちゃんと考えてから話し出せよ！！あとお前困ったらちこって言う癖いいかげん治せよ！！」

「うるせーよ、俺の勝手だろーが」

「うるせーのはテーマだよ、ちことか言やあウケると思ったたら大間違いだぞ」

「え？…そうなの？」

「本気で意外そうな顔してんじやねええええええ！！」

「まあそれは置いて、気付いた事がある」

「またちことか言ったらあれな、目ん玉にデコピンな」

「いや、そんなくだらん話じゃないから、重要な事だから、いやホント、マジだから」

「……言ってみ？」

「いやさ、ほら、あのーカッコの前に名前つけたら凄い事になるんじゃない？って思ってた」

「は？」

マヨヲ

「まあとりあえずやってみましょーや」

マヨヲ

「あーこういう事が」

マヨヲ

「うん」

マヨヲ

「で？何が凄いの？」

マヨヲ

「いや…何って…」

マヨヲ

「？」

マヨヲ

「物凄い可哀想な奴に見えるくね？」

マヨヲ

「…あー…ホントだ…一人で何か言ってるみたいだ…」

マヨヲ

「まあ一人なんだけど」

マヨヲ

「………もうこれやめようぜ」

マヨラ

「賛成」

「…確かに凄い事なっていましたな」

「だろ？」

「なんかマジですごい切なさを感じたわ」

「俺も俺も…っつーか、ここまで呼んでる人いんのかね」

「いないんじゃない？俺だったら暇じゃない？の辺りで読むのやめてるわ」

「あー多分俺もだわ」

「よし！じゃあマヨネーズの話しようか」

「え？どっからそんな流れになってたの？」

「気にすんなよ」

「あ、うん」

「マヨネーズ何にでも合うよな」

「だな」

「つまり俺は何が言いたいのかっていうと…」

「いうと…?」

「ケチャラー死ね」

「だな」

「ケチャラー死ね」

「なんで二回言った?」

「いや、なんとなくだけど」

「あ、そう」

「え?どうして俺がケチャラー嫌いなのかって?」

「だれも聞いてないけどな」

「あれは、俺が小学生の時だ…」

「うぜーよこいつ、なんか語りだしたよ」

「休日に自宅で友達とゲームやら何やらをして遊んでたら、友達が腹が減ったなんて言ってきた、で、そのとき母ちゃん居なかったから俺がオムレツ作ってやったんだよ」

「…ほおん」

「んで、もちろん俺も食べるつもりだったんだよオムレツ。あつ、ところでオムレツ何かける?」

「…マヨネーズ」

「だろおおああ！？ところがソイツは小皿にとる前の段階でオムレツにケチャップかけやがったんだ！それも大量に！！」

「…ケチャップってなんだよ」

「俺はマヨネーズかけたかったのにッ！！いやあ、そんなときのオムレツの味は忘れねーよ。しょっぱかったね！涙で！！」

「…」

「それだっただけ…ケチャラー死ねって」

「え？そんだけ！？」

「そうだが」

「……」

「……」

「…終わるか」

「ですな！」

「結局最後までグダグダだったな」

「ですな」

(後書き)

ホントすみませんでした

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1152f/>

おれの中にいるおれと会話してみた

2010年12月17日18時00分発行